

寺だより

'23/08/10
第111号

真宗大谷派
青龍山西光寺
珠洲市正院町正院

「西光寺本堂

修繕実行委員会」 発足

八月六日(日)「臨時総代会」を開催し、傾いた本堂を建て起こし耐震工事を行うことを決定し、西光寺本堂修繕実行委員会を立ち上げました。

本堂被災状況



折れた柱の添え柱

本堂は、正面両脇の二本の柱が折れ、本堂後ろの土台にも亀裂が入り、後ろ側に傾きました。応急措置として、折れた柱にもう一本柱を添えています。倒壊する危険があります。

本堂内の阿弥陀如来像を安置する厨子を「宮殿(くうでん)」といいます。その大切な宮殿が阿弥陀さまと共に倒壊し、破損しました。

その他多くの仏具が損壊し修復不能のものも数多くあります。

修繕見積もり

○修繕見積もり		令和5年8月6日現在
本堂修繕工事	¥19,100,000	
御本尊部分修復	¥1,210,000	
宮殿部分修復	¥1,980,000	
中尊前前卓部分修復	¥1,122,000	
中尊前上卓新調	¥792,000	
礼盤前卓新調	¥396,000	
修繕費用概算	¥24,600,000	

① 修繕に当たって

地震等自然災害に強い本堂

本堂を建て起こし、トラス加工(耐震工事)を行います。

② 歴史的・文化的資産の継承

西光寺には歴史的・文化的な要素が集積しており、先人の歩みを残す貴重な資産として後世に継承します。

*現在の西光寺本堂は、約四百年前、福井県より運ばれ建立

*蓮如上人ゆかりの寺・西光寺(へんじや御書様・へんじや参り)

*珠洲市文化財絹本着色親鸞聖人
絵伝蔵

③ コミュニティとしての西光寺の構築

「宗教離れ」や「お寺離れ」という言葉を聞くようになって久しくなりましたが、「コミュニティ」や「地域貢献」と言った、お寺が本来持っていた機能を改めて見直し、開かれた寺院のあり方を求めます。

④ 伝統的な技能の学び継承

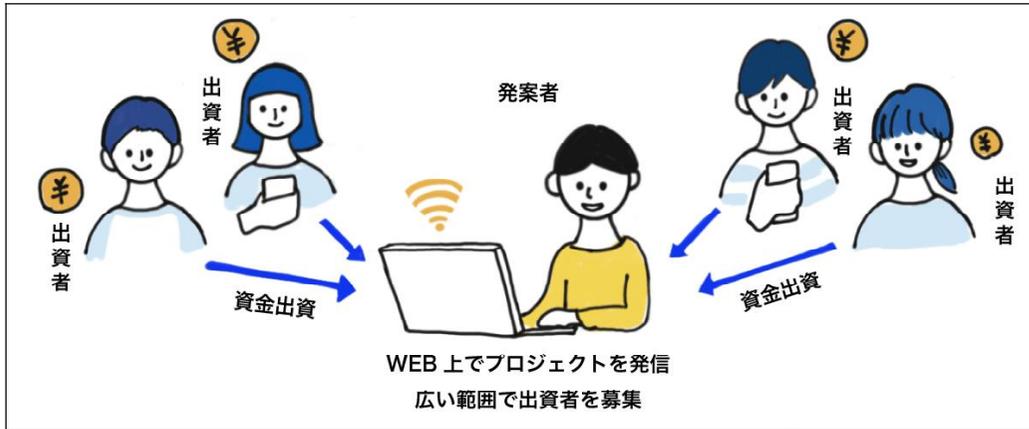
最新の工法や技術を用いて修理を行うと共に、建築の再生を通して伝統的な技能を継承します。

修復資金について

本来、西光寺はご門徒さんと住職・寺族で修復すべきですが、珠洲は過疎化・少子高齢化・門徒戸数減少が進んでおり、何よりも今回の地震でご門徒さんも被災し甚大な被害を受けておられます。また、昨年の地震での広間屋根修繕負担金をお願いしているところで、西光寺本堂修復は非常に困難な状況です。

しかし、なんとしても四百年の歴史を後世に残したく、大変な困難の中ですが、ご門徒の皆さまのご支援と共に、クラウドファンディング等を使い、ご門徒以外の皆さまにも支援をいただくことを考えています。

クラウドファンディングとは
インターネットを利用して事業や活動などの資金調達を不特定多数の人々から行うことをいいます。



西光寺本堂修繕実行委員会

- 委員長 乙谷衛一
- 副委員長 新保七郎・小西堅正
- 委員 道下悌子・中堂伊佐男
- 濱木満喜・桶田紘一
- 濱田和行・松ヶ瀬昌太
- 道下輝男・森孝司
- 乙脇善仁・清枝博之
- 嘉枝弥広

◆ 西光寺本堂修繕計画については、修繕実行委員会で計画立案し、皆さまにお計りします。

お盆がやってきます

亡き人を案ずる私が
亡き人から案じられている。
いのちと向き合う時間を。

浄土真宗のお盆は、私をお育て下さったご先祖を諸仏として尊ぶ「報恩感謝」の行事です。

浄土真宗では、亡き人を「諸仏」と
いただいできました。

諸仏とは、私たちを人間としての真
実の生き方へと導いてくださる仏さま

のことです。

お家ではお内仏(お仏壇)に手を合わせ、お墓では墓石の正面に記した南無阿弥陀仏に手を合わせます。

先に人生を歩んでゆかれた先達・ご先祖を偲ぶことを通して、静かに自分のいのちの歴史を振り返り、大切な仏法に触れるご縁となる時がお盆です。ご縁ある方々と共に、お内仏の前でそして、お墓の前で「なむあみだぶつ」とお念仏申しましょう。

今年、本堂に三つ折り御本尊を安置します。お寺にお墓がある方は、お墓参りの際、本堂に上がり、阿弥陀さまに手をあわせてください。

ご先祖さまは「お墓があることによつて」少しでもお寺に足を運んでくれるように、そして仏縁を深めてくれるように」と私たちに願われています。ご先祖さまが用意して下さった仏縁を大切にして下さるようお願いいたします。

13日・14日・15日の三日間 本堂に、給茶器で冷たいお茶を用意しております。



お陰様で今年も無事
永代経法要が勤まりました！



お参りの皆様

2023年(令和5年)8月10日 111号
ご門徒さんのご参詣をいただき、お勤めさせていただくことが出来ました。今年も、西光寺のご縁ある多くの物故者のご苦勞を偲び、自分のある姿に感謝するとともに、み仏の教えを聞かさせていただきました。お参りくださいました皆様、ご苦勞様でした。二日目6月28日には、西光寺門信徒総追悼法要も併せてお勤めしました。お参りの皆さまには、読経中お焼香をしていただきました。

6月27日(火)
28日(水)の
両日、本堂が使
えず広間の方で
永代経法要が営
まれました。
二日間でした
が、宝達志水よ
り福谷祐正先生
がお越しくださ

り、仏さまの教えをお取り次ぎくださ
いました。

前年度物故者追悼法要
勤まる



前年度物故者追悼法要

永代経法要
一日目の6月
27日、西光寺
門徒前年度物
故者十四名の
方の追悼法要
が営まれました。

多くの方が、
愛する家族と
の悲しい別れ

をご縁として、み教えと出遇つてお
られます。親を亡くし、連れ合いを亡
くし、あるいは子どもさんを亡くされる
という、つらく悲しい体験ではありま
すが、この私のいのちが終わるとき、
やがてまた再会できる場所・お浄土が
真宗門徒にはあります。
お浄土があるということとは、「死んだ
らおしまい」ではないのですね。

令和五年度 永代経志納報告

ローソク料 八六一、五〇〇円

(二三七戸)

賽銭 三六、三七〇円

*ご懇志は一般会計に歳入させて
いただきます。

西光寺護持委員会からのお知らせ

令和三年度維持費収入合計

一、〇八二、〇〇〇円(二六九戸)

(8/1現在)

ご門徒の皆様、西光寺の護持・運営
のために維持費を納めて頂きました。あ
りがとうございました。護持委員の方
々、維持費集金ありがとうございました。
ご志納いただいた維持費は、今年
度の收支予算書に基づき、西光寺の維
持運営に使わせていただきます。

二〇二三年度宗派経常費御依頼額

(本山上がり) 〇円

二〇二三年度能登教区費 〇円

私たちの宗門・真宗大谷派(東本願
寺)は、ご門徒の皆さまからの懇志で
成り立っています。

毎年、本山より門徒数に応じて各お
寺に宗派運営費が割り当てられます。
これを「本山上がり」とよんでいます。
今年度は、地震被害により、西光寺
の宗派経常費御依頼並びに教区費につ
きまして免除となりました。

● 秋のお彼岸のお参りの案内
9月23日(土) 午後2時から
法話 西光寺住職
少し早いですが、秋の彼岸会の案内です。
浄土真宗において「彼岸」とは、阿弥陀仏の「浄土」を指します。浄土は、私たちが還って行く世界であると同時に、迷いの世界である「此岸」に生き

大広間屋根葺き替え修繕費収納状況

令和5年8月6日(日)現在

① 屋根葺替工事見積もり (矢野本家)

¥3,957,390

② 収入

令和4年度収納	¥2,573,000
令和5年度修繕費集金(268戸)	¥551,000
令和5年度維持費修繕費より	¥300,000

合計 ¥3,424,000

* ①-② = ¥533,390

る私たちの在り方を照らし、私自身の生き方を問いかけてくる世界です。お彼岸は、浄土に還っていかれた亡き人を偲ぶとともに、自分の生活を振り返る大切な時です。どうかお参り下さい。

墓地管理委員会からのお知らせ

今年度分の墓地管理費を納付していただいた皆様、ご協力ありがとうございました。また、集金していただいた西光寺護持委員の皆様、ありがとうございました。

令和5年度墓地管理費収入合計

二二九、〇〇〇円(一六九戸)

(8/1現在)

お願い

まだ墓地管理費を納付されていない方は、早急に収めていただければ幸いです。

◆ 墓地清掃について

八月に入っても酷暑が続いております。例年、八月中にシルバー人材センターに依頼している墓地清掃ですが、熱中症等を考慮し今年は中止します。誠に申し訳ありませんが、お墓の所有者の皆さんで清掃等をお願いいたします。

II 編集後記 II

夕ごはん
ぼくは夕ごはんのとき
おかずをこぼした
おとうさんから
よそみをしていたからだ
しかられた
おとうとも
そうだよそみをしていたからだ
と、いった
それから数分後
おとうさんもおかずをこぼした
家じゅうがシーンとなった

鏡は毎日見ます。鏡なしには、自分の姿をみる事ができません。自分以外の人のことはよくみえるのに...。同じように、自分の間違いやクセはなかなか気づかず、失敗には目をつぶり、反対に他人のことはよく気づき、許せず、相手をせめてしまうことがあります。
相手の間違いを注意することが必要などときもあるけれど、自分のことを振り返ることはそれ以上に大事なこともなにかもしれません。
そして、時に、相手を思う優しさをもちことが、家族や、友達と、仲良くする秘訣(ひけつ)なのではないでしょうか?

南無阿弥陀仏